

社協だより 御野

第39号
[H28年度後期]

発行 御野地区社会福祉協議会
発行責任者 会長 大和田黎子
発行月 平成二十九年三月

印刷所 内外総合通信社

「元気の出る会」で笑顔に

御野地区社会福祉協議会（大和田黎子会長）では、一人暮らしの高齢者、障害のある方、寝たきりの方の介護をしている家族の方など、家の中にひきこもりがちになっている人を対象に月1回程度、「元気の出る会」を実施しています。参加した人が「元気」で「笑顔」になれる内容が盛りだくさんです。今年度は9回開催されました。10月以降に開催された中から、10月と12月に行われた会を紹介します。

倉敷川のほとりを歩く参加者（倉敷美観地区）



倉敷川を眺める参加者（倉敷美観地区）



美観地区を散策 バス旅行で倉敷、総社へ

10月 元気の出る会



大型観光バスいっぱい参加者

十月の「元気の出る会」は七日、快晴の秋空の下、倉敷美観地区（倉敷市）と「農マル園芸 吉備路農園（総社市）」へのバス旅行でした。大型観光バス一台を貸し切り、午前十時に



倉敷美観地区にある料理旅館で昼食を取る参加者

十二月の「元気の出る会」は十四日、北公民館でクリスマス会を行い、音楽療法士の長谷井恭子さんと娘の甲藤裕子さん、アシスタントの妹尾藍子さんの三人によるクリスマスソングや童謡・唱歌などの歌や演奏を楽しみました。初めに、九月から御

Xマス気分楽しむ

元気の出る会12月



ハンドベルでクリスマスソングを演奏する長谷井さん（北公民館）

笑って歌って 音楽療法体験 続いて、ツリーなどが飾られたクリスマス

「農マル園芸 吉備路農園」では、岡山県内の生産者が栽培した新鮮な野菜・果物が並び、「農産物直売所」のほか、多種多様な花や果樹苗、ガーデニング用品が並び、「花の直売所」など

の三十分あまりの時間を利用して、参加者は思い思いに倉敷川のほとりを散策しました。昼食は、倉敷美観地区の中にある「料理旅館 鶴形」の二階大広間でゆっくりとした



「農マル園芸 吉備路農園」で新鮮な野菜・果物が並び、「農産物直売所」のほか、多種多様な花や果樹苗、ガーデニング用品が並び、「花の直売所」など

区の中に「料理旅館 鶴形」の二階大広間でゆっくりとした

長谷井さんは「音楽を聴くといった受け身だけでなく、演奏したり歌を歌ったりという能動的なことも、健康のために大切だ」と話され、参加者全員でピアノの伴奏に合わせ



「お猿のかごや」を歌いながら、手を上げる参加者（北公民館）

手作り弁当やプレゼントも



最後は、御野学区の福祉ボランティアグループ「ままかりの会」のメンバーが手作りの布製のティッシュボックスカバーが参加者にプレゼントされました。

それぞれ実施している事業などについての紹介がありました。

では「さ」の歌詞が出るたびに右手・左手を交互に上げるなど、歌いながら、頭で考えて、体を動かす」ということにも挑戦しました。また「山小舎の灯」「リンゴの唄」「ああ人生に涙あり」など懐メロが書かれた歌詞カードの中から、参加者がピアノ伴奏に合わせて全員で歌う場面もあり、長谷井さんは「ご家庭でも、ほがらかに歌って笑ってお過ごしください」と締めくくられました。

平成29年度も御野地区社会福祉協議会では引き続き「元気の出る会」を実施します。「元気の出る会」についての問い合わせは、各町内の民生委員にお願いします。